



学校だより

[校訓] 本気 勇気 根気

[重点] つなげよう

つながろう!

佐呂間町立若佐小学校

令和 7年 8月8日

とんぐり

～こどもまんなか～

佐呂間町立若佐小学校長 風 間 直 樹

8月立秋を過ぎて、暑さは落ち着くかわかりませんが、夏休みも半分以上が過ぎました。子どもたちは元気に過ごしていることと思います。PTA親子キャンプにつきまして、準備から当日の運営までありがとうございました。暑い中、寝不足はあったもの無事に終えることができました。夏休み最初によい思い出ができたと思います。

突然ですが、残暑お見舞いも兼ねて学校だよりをお届けします。本当にこの夏は異常な暑さです。熱中症や地震、津波もあり、ほんと地球は怒っているのではないのでしょうか。なにはともあれ、残りの夏休み（12日間）も、ご安全に、ご健康に過ごしてほしいと思います。

さて、みなさんは「こどもまんなか」という言葉をご存じでしょうか。これは、令和5年に新しく設立された「こども家庭庁」が推進する国の新しい子ども政策の柱となる考え方です。

「こどもまんなか政策」とは、その名のとおり、子どもを社会の中心に据え、子どもの視点や思いを最優先に考えるという理念に基づいた取組です。これまでのように大人の都合や視点から制度や仕組みをつくるのではなく、「子どもにとって本当に必要なことは何か？」を出発点にして、社会全体が子どもを支えていこうという考え方です。こども家庭庁では、子どもや若者の意見を聞く場を設けたり、子育て支援や教育制度の見直しを進めたりしています。

国：こども家庭庁（令和5年4月発足）：子どものための国の新しい機関

こども基本法：子どもの権利を守るための法律（令和5年施行）

道：北海道こども基本条例制定（令和7年4月施行）

◎こどもまんなか社会のビジョン

- ・「子どもは未来の担い手」ではなく、今を生きる個人としての子どもを尊重
- ・子どもが安心して学び、遊び、成長できる社会
- ・子育て家庭が孤立せず、誰もが支え合える社会
- ・子どもに関するすべての施策や判断で、「その子どもの立場だったら？」と考える 等

学校においても、「子ども自身の声に耳を傾ける」「子どもの安心・安全を最優先にする」「多様な子どもたちが共に学べる環境をつくる」といった視点がより一層求められています。

最近聞かれる「パブリックコメント」についても、子どもたちから、施策や制度に対して広く意見を募るようになっていきます。先日も佐呂間町から、新しい役場の公園の遊具について1～4年生にアンケートがあったところです。

本校でも、子どもたち一人ひとりの声を大切に、日々の学校生活や学習活動の中で、「自分の気持ちを伝えられる」「自分らしくいられる」環境づくりを進めてまいります。

これからも保護者のみなさんとともに、子どもたちが健やかに育ち、笑顔で過ごせるウェルビーイングな「こどもまんなか」の学校を目指していきたいと思っております。引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校評価アンケートについて

早速ご協力のお願いです。マチコミで学校評価アンケートについて、お願いしていたところですが、締切が8月5日となっております。ご多用とは存じますが回答がまだのご家庭については、マチコミのメール内のリンクか下記左の二次元コードから回答をお願いいたします。



保護者用です



児童用です

また、児童にも学校評価アンケートを行っております。1～4年生は休み前に実施しましたが、5・6年生については、夏休み中に回答してもらうこととしております。お手数をおかけしますがお声がけをお願いいたします。ChromebookからClassroomに入り「2025若佐小全校児童」のリンクか上記右の二次元コードから回答するようにお伝えください。よろしくお願いいたします。

若佐小学校の一コマ



修学旅行の写真ここで披露いたします。右はキャンプの時の6年生です！

3連休明けから、学校閉庁日（8/12～15）になります。よろしくお願いいたします。